

令和2年度 練馬区地域おこしプロジェクト選定事業の評価について

団体名	「ねりま」で育って良かったプロジェクトチーム
事業名	「ねりま」で育って良かったプロジェクト ～未来につなぐ「ねりま」のひと・もの・こと～

1 令和3年度の事業継続

[可 ・ 不可] とする

2 令和2年度の実績

[活動の基盤づくり]

- ①事業目的・到達目標の整理
- ②青年リーダー（24名）と協働した事業計画づくり

[活動実績]

- ①青年リーダーミーティング（延6回）
- ②キックオフイベントの開催（約120組・約240名来場）

3 令和2年度の評価

新型コロナウイルス感染症の影響で活動に大きく制限がかかり、事業進行が難しい1年であったと思いますが、その状況を逆手に取り、3年間の事業目的と到達目標を明らかにして、活動計画の検討に注力できたと推察します。練馬区は、従前から練馬地区（東側）と石神井・大泉地区（西側）で特性が大きく異なり、子どもたちは、互いの地域について理解する機会が少ないことも現状です。その課題を踏まえた事業目的を整理し、活動計画を策定したことを評価します。

さらに、今年度、協力関係を築くことができた青年リーダーは、プロジェクトの大きな力となるでしょう。彼らの長所を活かしつつ、より充実した事業内容にしていくための青年リーダーとの連携体制を、次年度以降の活動の中で確立して行ってください。

単年度プロジェクトの年間ツアーについては、子どもたちが「ツアーに参加して楽しかった」という感想で終わりにならないよう、さらにその先に行くプログラムを練ることが必要です。青少年育成地区委員会や子ども会の行事とは異なる、「ねりま」で育って良かったプロジェクトならではの特色を生み出していけることを期待しています。貴プロジェクト同様の目的を掲げて活動するNPO法人や地域活動団体、他自治体等の活動事例を参考にしながら、子どもたちが“主体的・能動的”に行動することができるようなプログラムの検討に努めてください。

次年度は、実際に事業を進めていくことになると思いますが、新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限も引き続き予想されます。“オンライン”という選択肢も視野に入れながら、事業目的の達成に近づく道を切り開いて行ってください。今後の活動に期待しています。